

背景・目的

日本文学科においても近年、学生の図書離れは著しい。そこで、今年度より学科独自のリーディングマラソンを実施することとした。具体的には、日本文学科の主要4分野に関する啓蒙書100冊を各担当教員の推薦に基づき選定し、その一定冊数分の読書感想文の提出をもって、「資格個別研修Ⅰ・Ⅱ」の単位を認定することとした。また後期においては、この企画の周知とモチベーションの向上を目的として、作家や出版関係者による講演会・ワークショップ、学科教員によるシンポジウムを行うこととした。

実施内容

まず、年度当初の学年別ガイダンス時に、全学年に対し、日本文学科リーディングマラソンの趣旨を説明した上で図書リストを配付した。

この企画の実施に際しては、リストに挙げられた100冊を2セット購入し、大学図書館内に特設コーナーを設置した。



(大学図書館特設コーナー)

そして後期においては、この企画の周知徹底と、モチベーション・アップを目的として、以下の企画を実施した。

一、「良い文章の書き方ワークショップ」

開催日：9月28日(水)

講師：松尾智子氏(学研パブリッシング
第一出版事業部 家庭実用出版室)

二、瀬名秀明氏講演会(作家)

開催日：11月10日(木)

演題：希望と、物語の創造力



(瀬名秀樹氏講演会)

三、学科教員によるシンポジウム

—文学とは何か—

開催日：11月16日(水)・30日(水)

結果及び考察

企画はいずれも好評であった。

リーディングマラソン自体については、今年度中に単位認定の可能な学生が2名現れたことは幸いである。(4年生1名が「資格個別研修Ⅱ」、1年生1名が「同Ⅰ」)。ただし、残念ながらこの2名を除き、本企画への積極的な参加学生が多く見られないのが現状である。今年度は震災の影響により、ガイダンスも短縮して2日間で行われ、十分なアナウンスの出来なかったことが主たる原因かと思われる。

学科の授業の課題としてもリストに収録された図書の感想文を課す、推薦入学者への課題としてもリストの図書を取り上げるなど、卒業までにまだ時間的余裕のある低学年や新入生を中心に、本企画への参加を今後も強く促していきたい。